

7.3 投資・財政計画（経営戦略）のまとめ

本ビジョンの将来像「未来につなぐ水都とくしまの水道」を実現し、健全な状態で将来世代に水道を引き継いでいくために必要な投資と財源についてそれぞれ、「7.1 投資計画」では、「耐震化」、「適正化」及び「長寿命化」の視点から投資額を整理して平準化について、また、「7.2 財政計画」では、必要な投資に対する財源の確保策について検討しました。

その結果、本ビジョンの計画期間後半には財源不足が生じる見込みとなり、2019（平成31）年度から2028（平成40）年度までの投資・財政計画（経営戦略）では、料金改定を行うことでシミュレーションし、収支均衡を図ることとしました。シミュレーションについては、次ページ以降に示します。